

基本方針				取組	実施時期														
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期	
2 子どもの 主体性 を 育 て ま す	子どもの 主体性を 育む授業 へ転換し ます	主体的・対話的で深 い学びへ	学びの過程を大切に し、生徒の存在や意見 が尊重される授業づく りを推進する教職員	コミュニケーション能力を育成し、協働し て学び合う授業づくりをめざした校内授業 研究を実施する。			授業研					授業研		授業研			継続	継続	
	子どもが 参画する 学校づく りを行い ます	学校行事は子ども主 体で行います	感動のある学校づくり を担う一員として活動 する中で自己有用感を もち、自己肯定感を高 める生徒	生徒会で行事の内容や校則の見直し等につ いて話し合い、生徒が学校運営に参画す る。	会議 対面式	会議	体育大会 生徒総会	会議		会議		会議 文化発表 会			会議	送る会	継続	継続	
	児童会・ 生徒会を 活性化し ます	サミットで学校間交 流を図ります	各校での様々な取組み を参考にして、自校に 適した具体的な取組み を模索、実施する生徒	市で行う児童会・生徒会サミットに参加 し、意見交換を行い、自校の取り組みに活 かす。					サミット	サミット 結果を全 生徒に報 告								継続	継続
	子どもへ のエンパ ワメント を促進し ます	自殺予防教育を行い ます	生涯を通じて心の危機 に直面した場合の対処 スキルを身に付けた生 徒	生徒を対象とした自殺予防につながる教育 プログラムの授業を実施し、成果と課題を つかむ。				授業 検証										継続	継続
		いじめ防止教育につ ながるグ ェストティー チャーの授 業を行い ます	人権を守ることの重要 性について理解を深め る生徒	弁護士、警察官、大学教授など人権に関す る講師による出前授業を生徒対象に実施す る。								授業						継続	継続
3 部活 動 を 改 革 し ま す	部活動の あり方 を見直 します	宝塚市部活動ガイド ラインの徹底を図り ます	部活動の意義や目的を 認識し、より安全で充 実を目指した目標のも と生徒のいきいきとし た姿を育む教職員	年度当初にガイドラインの内容について校 内で研修を行うとともに適宜生徒と顧問が ガイドラインの内容を確認する。 部全体の目標を定める。 保護者会等により、家庭との連携を進め る。	研修 確認 保護者会 (通年適宜)									確認			確認	継続	継続
		顧問は、部全体の目 標を踏まえ生徒一人 ひとりに合った目標 設定を支援し、各生 徒がその目標を達成 することをサポート する姿勢で部活動指 導に臨みます	一つの部活動内での閉 鎖的な取組ではなく常 に全体での情報共有、 共通認識のもと部活 動を運営する教職員	職員会や顧問会等を通して、生徒のサポ ートをふまえた部活動のあり方について教 職員の共通理解を図る。 部活動の問題を生徒指導委員会や学年会等 との連携を図り、情報を共有する。	顧問会 生徒指導委 員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	(顧問 会) 生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	継続
	生徒が主 体とな った部活 動の運 営を行 います	部活動の方向性、内 容を生徒と顧問が話 し合って決めます	部活動運営に主体的に 取り組む生徒とそれを サポートする教職員	各部長と教員が意見交換や学校全体の約束 などについて共通理解する場（部長会等） を設ける。	部長会 ミーティ ング							部長会			(部長 会)			継続	継続
		生徒一人ひとりの悩 みや疑問を尊重しま す	生徒一人ひとりとの意 見交換を大切にす る教職員	面談やアンケートを通 して、生徒一人一人 の悩みや疑問を把握し、対応する。	面談			アンケ ー ト					アンケ ー ト		アンケ ー ト			継続	継続

基本方針				取組	実施時期													中期	長期								
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月											
		丁寧なミーティングを行います	生徒の主体性を尊重しながら共通理解を図る教職員	生徒と顧問が対等で建設的な関係でのミーティングを行う。	ミーティング													→	継続	継続							
4 チ ーム 学 校 で 取 り 組 み ま す	学校の組織対応力を向上させます	教師がSOSを出せる教師集団を作ります	全校体制で意識や取組の方向性を同じくし、一枚岩の組織となって取り組む教職員	教職員一人一人が声かけを意識して、あらゆる場面で年齢や経験、学年等の枠を超えて話し合い、意見の言える風土をつくる。	職員会 学年会 いじめ防止委員会 生徒指導委員会															→	継続	継続					
		多職種連携を推進します	SC・SSW・関係機関等と迅速、円滑に連携する学校	ケース会議や相談など適宜SC・SSW・関係機関等との連携を図る。	ケース会議																	→	継続	継続			
	子どもを育む地域や関係機関との連携を行います	地域ぐるみで子どもを見守ります	地域との連携・協働を積極的に進め、子どもたちの成長を地域と分かち合う学校	学校運営協議会(コミュニティスクール)、青少年育成市民会議等により学校の情報を共有し、地域との協力を進める。				運営協議会													運営協議会			継続	継続		
		保育所・幼稚園・小中学校の連携を強化します	中学校区における目指す子ども像の実現に向けた教育の連携を推進する保幼小中学校園所	小学校との部活・授業見学等の交流を進めていく。 小学校との入学に係る引継を充実させる。 市の連携会議等での情報を教職員で共有す																				継続 体験授業を実施	継続 体験授業を実施		
		関係機関との連携を図ります	関係機関との迅速、円滑な連携を行う学校	学校のケースについて常に家庭児童相談室等の関係機関と連携を図る。	連携																			→	継続	継続	
5 子 ど も に 対 す る 根 絶 し ま す ハ ラ ス メ ン ト を 根 絶 し ま す	体罰を根絶します	体罰の禁止を徹底します	あらゆる場面での体罰は絶対に許さず、人権感覚豊かな指導を行う教職員	体罰根絶宣言を学校通信や全校集会等で発表する。 体罰根絶に向けた共通理解を図る研修を実施する。	学校通信 全校集会 研修																		研修	研修	継続	継続	
	部活動におけるパワーハラスメントを根絶します	特に部活動がパワーハラスメントに陥りやすい環境であるとの認識を持ち、体罰は絶対に許さず、人権感覚豊かな指導を行う教職員	特に部活動などの事例を基に、パワーハラスメント根絶に向けた共通理解を図る研修を実施する。		研修																			研修	研修	継続	継続
	あらゆるハラスメントを根絶します	暴言・ハラスメントも人権を侵害する行為であり絶対に許されないものである共通認識を持ち、人権感覚豊かな指導を行う教職員	パワーハラスメント根絶宣言を学校通信や全校集会等で発表する。 パワーハラスメント根絶に向けた共通理解を図る研修を実施する。		学校通信 全校集会 研修																				研修	研修	継続